

令和7年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

豊かな人間性をもち、主体的に判断・行動し、自らの向上と社会の発展を目指してたくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

「今泉の子 やさしく かしこく たくましく」

○明るく思いやりのある子(思いやり)

○自ら考え進んで学ぶ子(創造力)

○元気でやりぬく子(体力・気力)

2 学校経営の理念

「明るく 楽しく 喜びいっぱい 心のふるさと今泉小」の創造

家庭や地域の信頼と協力のもと、児童一人一人が夢や希望を抱き、
喜びとやりがいをもって生き生きと生活し、
個々の力を伸長できる、地域とともに歩む学校を創造する。

3 学校経営の方針

- (1) 認め励ます教育を推進することを通して、児童一人一人の「知・徳・体の調和のとれた生きる力」の育成に努める。
- (2) 体験的な活動や協働的な活動を通して、「これからの社会を生きる力」の育成に努める。
- (3) 児童一人一人の個性・特性・教育的ニーズの理解に努めるとともに、その特性に等に応じた指導・支援について、全職員による組織的な対応に努める。
- (4) 校内研修を工夫するなどして、教職員の資質・向上を図るとともに、業務の効率化を図るなどして、働き方改革を推進する。
- (5) 魅力ある学校づくり地域協議会との連携や小中一貫教育・地域学校園の取組の推進に努めながら、家庭や地域とのつながりを深めた教育活動を展開する。

【泉が丘地域学校園教育ビジョン】

望ましい人間関係をつくり、進んで学び合う児童生徒の育成
～ 学びの泉 おもいやりの泉 げんきの泉 ～

4 教育課程編成の方針

- (1) 教育関係諸法令や学習指導要領、とちぎ教育振興計画2025、第2次宇都宮市学校教育推進計画校旗計画、令和6年度指導の重点、泉が丘地域学校園教育ビジョンを踏まえ、教科横断的な視点を意識しながら編成する。
- (2) 児童がもつ個々の力を伸ばすことを目指し、教育目標、本年度の学校経営方針、重点目標の具現化を図ることができるよう編成する。
- (3) 本校の歴史と伝統を大切に、児童の実態や本校の特色、地域の教育力を生かした特色ある教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（1）学校運営

- 地域の教育資源を活用した教育活動の充実
 - ・業務の効率化と勤務時間の適正化

（2）学習指導

- 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善（授業スタイル「今泉モデル」の実践）
 - ・1人1台端末の活用の推進

（3）児童生徒指導

- ・「今泉小学校のあたりまえ五か条」に基づく生活指導
- ・児童一人一人の個性や状況等に応じた指導・支援の充実

（4）健康（体力・保健・食育・安全）

- ・走・跳・投の基本的能力の向上
- ・望ましい食習慣と基本的な健康習慣の定着

6 特色ある学校づくり等に関する取組

（1）育てたい資質・能力

地域の教育資源を活用した活動や異年齢集団活動を通して、やさしく生きる力・かしこく生きる力・たくましく生きる力を育成するとともに、宇都宮や今泉地区を愛する心を涵養する。

（2）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

「ふれあいとよろこび 学び合いの教育」の推進

① にこにこ活動(豊かな心)～やさしく～

- ◇縦割り班活動の実施
- ◇栽培体験活動の実施
- ・道徳教育や人権教育の充実
- ◇幼・保・中・高校、高齢者、地域の人との交流

② ぐんぐん活動(確かな学力)～かしこく～

- ・明確なねらいと学び合いのある授業実践
- ・自らの学びを振り返り実感する場の工夫
- ◇夏休み「ぐんぐん教室」の充実
- ・主体的な学びの推進

③ きらきら活動(健やかな体)～たくましく～

- ・休み時間の積極的な運動遊びの奨励と運動機会の創出
- ・新体力テストやミニマムを活用した体育授業の充実
- ◇地区防災訓練への参加
- ◇家庭との連携による食育の推進

7 本市の重点施策・事業との関連

（1）地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

魅力ある学校づくり地域協議会を核とした教育活動支援の円滑な実施により、児童が体験を通して学ぶ機会を充実させるとともに、宇都宮学の基盤となる地域に対する愛着を深める。

②主な取組

- ・授業ボランティアや図書ボランティア等、地域協議会を通じた授業支援
- ・地域人材を活用した発展的体験学習の機会（ぐんぐん教室）の充実
- ・学校ホームページや各種たより等による学校情報の積極的発信

（2）小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

基礎的・基本的な学習内容の定着のための指導をととして、他者とかかわり合いながら、学習の習慣化及び学習意欲の向上を図るとともに、互いに認め合い、かかわり合う人間関係を構築する力や、自ら健康的な生活を営む力を育成する。

② 主な取組

- ・学力の向上に関する情報の共有化
- ・児童生徒指導強化連絡会の充実
- ・乗り入れ授業の推進（中学校から小学校への実施）
- ・小中交流のボランティア活動の実践（駅東公園美化活動）

（3）不登校対策

①基本的考え

安心して過ごせる学級や居場所づくり並びに、不登校の兆候が見られる児童の早期発見や早期対応に努めるとともに、不登校児童の個々の状況に応じた支援の充実に努める。

②主な取組

- ・年間4回「友だちアンケート」の実施による児童のSOS早期発見
- ・Q-U検査活用による学級の実態把握と居心地のよい学級づくり
- ・生活指導、特別支援、問題行動への対応に関する職員研修の実施
- ・全教職員による別室支援体制の構築

（4）GIGAスクール構想

①基本的考え

各教科等の学びを深め、児童の学びの本質に迫れるよう、1人1台端末の活用の充実に努めるとともに、デジタル・シティズンシップ教育の推進に努める。

③ 主な取組

- ・協働学習支援ツール「school Takt」の活用の促進
- ・共同編集が可能なクラウドの校務や授業での積極的な活用の推進
- ・AIドリル及び各種アプリ等の積極的活用
- ・ICT支援員との効果的な連携

（5）宇都宮学

①基本的考え

宇都宮の特色や魅力を理解するとともに、教科横断的な学活動を通して、郷土への愛情や誇りをもち、よりよく未来を切り開いていこうとする態度を育てる。

②主な取組

- ・宇都宮学副読本や社会科副読本の活用の活用
- ・宇都宮学施設めぐりの実施
- ・他教科等との関連を図った教科横断的な学習活動の推進